

表：ユーザーズガイド

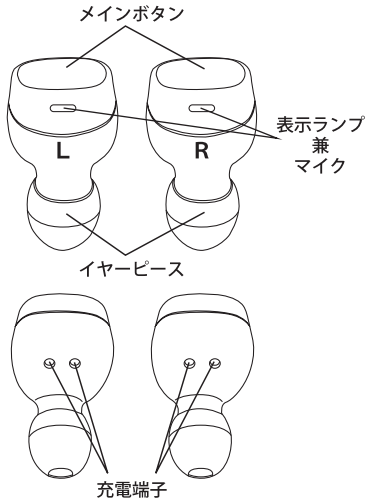
ユーザーズガイド 完全ワイヤレスイヤホン 充電式専用ケース付属

DZBES-100-D

- 本製品は Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合しており、認証を取得しています。ただし、お使いの機種の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- 本製品はハンズフリー、またはヘッドセットプロファイル®に対応している Bluetooth ® 無線技術を備えた機器に接続できます。
※プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとの機能の規格です。

各部の名称

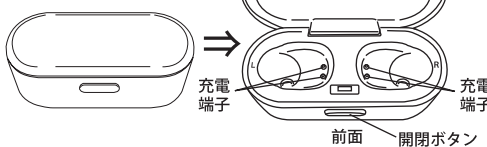
■イヤホン



付属品

本製品には下記付属品が同梱されています。開封後必ず、ご確認ください。
※イヤピースはお好みに合わせて交換できます。ご購入時はMサイズが装着されています。

■充電式専用ケース



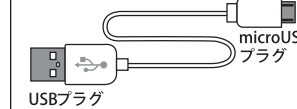
■低反発ウレタン製イヤピース
Mサイズのみ付属。



■シリコン製イヤピース
XS、S、M、L の 4 サイズ。
※Mサイズは本体に装着してあります。



■USB充電ケーブル (50cm)
充電式専用ケースを充電するための
microUSB 充電ケーブルです。

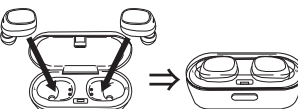


充電方法

初回使用前に、
充電式専用ケース・イヤホンを充電してください。

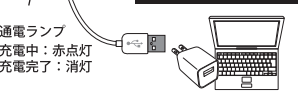
充電式専用ケース・イヤホン 同時に充電する

充電式専用ケースにイヤホンを設定し
充電式専用ケース背面の microUSB 充電端子に
USB 充電ケーブルのプラグを差し込み、
PC などの USB 電源出力機器に
USB プラグを差し込んでください。



充電中はフタ越しに、イヤホンの表示ランプが
赤く点灯している状態が確認できます。

充電式専用ケース・イヤホンの
同時の満充電時間は
約2時間です
充電が完了すると、
イヤホンの表示ランプと、
通電ランプが消灯します。



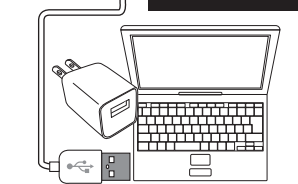
充電式専用ケースを充電する

充電式専用ケース背面の microUSB 充電端子に
USB 充電ケーブルのプラグを差し込み、
PC などの USB 電源出力機器に
USB プラグを差し込んでください。



通電ランプ
充電中：赤点灯
充電完了：消灯

充電式専用ケースの
満充電時間は
約2時間です
充電が完了すると、
通電ランプが消灯します。



イヤホンに充電する

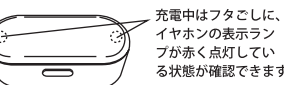
※充電式専用ケースが充電されている状態
①：充電式専用ケースのフタを開けて、イヤホン
を設定してください。



イヤホンの
満充電時間は
約1時間です
充電が完了すると、
表示ランプが
消灯します。



②：フタを完全に閉じると、充電が始まります。



③：充電完了後は、ご使用の際にイヤホンを取り出してください。

オートペアリング

オートペアリング：本製品をお使いの機種に自動で初期登録する操作です。

お使いの機種により、設定方法や用語がそれぞれ異なります。また、
機種によってはオートペアリングにならない場合もあります。
あくまでも下記接続例は設定の参考とし、必ずお使いの機種の取扱
説明書でご確認の上、設定してください。

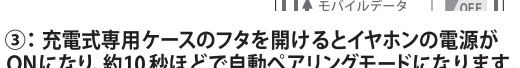
①：イヤホンを左(L)・右(R) 両方とも充電式専用ケース
にセットして、フタを完全に閉じて充電をします。

●最初は満充電にしてください。満充電時間は約1時間です。



②：お使いの機種のBluetooth設定をONにします。

●お使いの機種のメニューリスト
などから Bluetooth 設定画面を
開いて、ON の状態にしてください。



③：充電式専用ケースのフタを開けるとイヤホンの電源が
ONになり、約10秒ほどで自動ペアリングモードになります。



操作後に、初回のペアリングでは下記の音声流れます。
・右(R)、左(L)：「ビー」の音の後に「パワーオン」、「コネクティッド」の音声
・右(R)：「ビー」の音の後に「ライト チャンネル」の音声
・左(L)：「ビー」の音の後に「レフト チャンネル」の音声
・右(R)：「ビー」の音の後に「ペアリング」の音声

④：お使いの機種のBluetooth 設定に「DZBES-100R」が
表示されたら、タッチをします。

●本製品の機器型番「DZBES-100R」が表示されます。
●「DZBES-100R」を選択し、登録をしてください。



操作後に、初回のペアリングでは下記の音声流れます。
・右(R)：「ペアリングサクセスフル」、「セカンド デバイスコネ
クティッド」の音声
2回目以降は、下記の音声流れます。
・「セカンド デバイス コネクティッド」の音声

⑤：後は待つだけでペアリングが完了します。最初に右(R)
がペアリングし、次にオートで左(L) がペアリングします。



ペアリングをするかどうかたずねられる質問が表示された際、Bluetooth バスキー、
暗証番号、PIN ナンバー等の入力求められた場合は[0000]を入力してくださ
い。バスキー、暗証番号、PIN ナンバーを入力しない機種もあります。
※本製品のペアリング台数は8台までですが、ご使用になれるのは1台です。

！ ペアリングは1m以内で行ってください。
！ ペアリングする際は、イヤホンに触る必要はありません。
※お使いの機種によってはオートペアリングにならない場合もありますので
機種の取扱説明書をお読みください。
！ ペアリング終了後、すぐに発着信できますが、お使いの機種により Bluetooth
画面から接続状態を「接続」「ON」など選択しない、Bluetooth 機能が使用
できない場合もあります。お使いの機種の取扱説明書をご確認ください。

【イヤホンのバッテリー切れの場合】

※イヤホンのバッテリーが不足してくると、約 20 秒ごとにイヤホンの左
(L)・右(R)の表示ランプが赤く点滅します。
※イヤホンの左(L)バッテリー残量が先になくなった場合、「ビービー」の音の後に、
「ローバッテリー フリースチャージ」と音声流れイヤホンが OFF になります。
イヤホンの右(R)は、そのまま残量がなくなるまで、片方のみで使用できます。
※イヤホンの右(R) バッテリー残量が先になくなった場合、「ビービー」の音の後に、
「ローバッテリー フリースチャージ」と音声流れイヤホンがOFFになります。イヤホ
ンの左(L)は、「フリースコネクティッド」と音声流れ、ペアリングが解除になります。

【イヤホンのみを持ち歩いている場合のペアリング方法】

①：左右それぞれのイヤホンのメインボタンを約2秒以上長押しして、電源をONにし
てください。 ②：左右のイヤホンの電源をONにした後、自動的にイヤホン同士のペアリ
ングが完了します。[A]の音声が流れます ③：お使いの機種の Bluetooth 設定をON
にしてください。 ④：右(R)のイヤホンの表示ランプが赤青交互に点滅を始めた後、ペ
アリングモード状態です。以下の手順は、「オートペアリング」④からと同じになります。
[B]の音声が流れます]

基本操作方法

方法①：充電式専用ケースのフタが完全に閉じた状態から、フタを開けてイヤホ
ンを取り出すと、表示ランプが青く3回点滅した後、自動的に電源ONになります。

方法②：イヤホンのみを持ち歩いている場合は、左右それぞれのイヤホン
のメインボタンを約2秒以上長押し、表示ランプが青く3回点滅した後、電源
がONになります。

【電源をOFFにする】

方法①：充電式専用ケースにイヤホンを設定してフタを完全に閉じると、
表示ランプが赤く3回点滅した後、自動的に電源OFFになります。

方法②：イヤホンのみを持ち歩いている場合は、メインボタンを約 3〜4
秒長押しすると、表示ランプが赤く3回点滅し電源がOFFになります。
（「ビー」の音の後に「パワーオフ」と音声流れます。）

※左右どちらかを操作していただければ、両方電源OFFになります。

音楽を聴く

音楽の再生 / 停止

- 本製品とお使いの機種が接続されているかご確認ください。
- まずはお使いの機種（ペアリング済み）を操作して、聴きたい音楽を
選択すると、音楽が再生します。
- 音楽再生中にメインボタンを1回押すと、いったん音楽が停止しま
す。再びメインボタンを1回押すと、音楽が再生します。（左右どちら
のイヤホンのメインボタンでも操作可能です）

※音楽の音量調整 / 曲送り / 曲戻しなどは、お使いの機種（ペアリング
済み）で操作してください。

音楽の再生中に電話がかかってきた時

音楽再生時に電話がかかってきた時は音楽が止まり、着信音が流れます
ので、メインボタンを押せば通話できます。通話が終了したら「ビー」の
音の後に「コールエンディッド」と音声流れ、再度音楽が再生します。

通話方法

※通話の場合は、右(R)のみのイヤホンでしかご使用できません。

①：電話を受ける

イヤホンから「ビービー」の音と着信音が聞こえたら、右(R)のイヤホンのメインボ
タンを1回押ししてください。（「ビービー」と2回音が流れ通話状態になります）

②：通話を終了させる

通話状態で右(R)のイヤホンのメインボタンを1回押ししてください。
（「コールエンディッド」と音声流れ通話が終了になります）

③：電話をかける

携帯電話から相手先に電話をかけてください。自動で切り替わります。
※一部、自動で切り替わらない機種もあります。お使いの機種の取扱説
明書でご確認ください。

最後にかけた番号へのリダイヤル

右(R)のイヤホンのメインボタンを2回押ししてください。お使いの機
種に番号が表示され、発信されます。イヤホンから「ビー」の音の後に、
「リダイヤリング」という音声流れます。

【注意事項】

障害物や壁がある場合や、お使いの機種から5m以上離れた場合、音質が劣化する
ことがあります。本製品とお使いの機種をなるべく近いところで使用してください。

裏：取扱説明書

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故に繋がることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書およびユーザーズガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

基本仕様

Bluetooth仕様	Ver.4.2	作動範囲	最大約10m※1
連続通話	最大約2.8時間※1	対応プロファイル	HFP,HSP,A2DP,TWS,AVRCP
連続音楽再生	最大約2.5時間※1	A2DP対応コーデック	SBC, AAC
連続待機	最大約100時間※1	本体重量	左:約4.5g 右:約5g
使用温度	- 10℃～ 50℃	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	イヤホン: 約23.5×17.1×22.4mm 充電式専用ケース: 約69×30×29.5mm

※1：使用環境や使用状況などによって異なります。

安全のために

この製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る：この「安全のために」をよくお読みください。

●定期的に点検する：製品のプラグ部とコンセントとの間に埃がたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

●故障したら使わない：動作がおかしくなったり、製品などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店にご相談ください。

●万が一、異常が起きた場合、変な音・においがした場合、煙がでた場合は①電源を切る。

②製品を充電中の場合は、コンセントまたはシガーソケットから抜く。

③弊社またはお買い上げ店にご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大怪我などの人身事故が生じます。
	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大怪我などの人身事故の原因になります。
	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他事故により火傷や怪我をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

危険

下記の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大怪我などの人身事故が生じます。

【充電についての安全上のご注意】

- 接続ケーブルを使用される時は、差し込み向きや形状などを必ず確認してください。接続機器が破損する場合があります。
- 濡れた手で の 操作や、水がかかるような状況では絶対に使用しないでください。
- 投げたり、衝撃を与えたり、無理やり機器に接続しないでください。また、分解・改造などは絶対にしないでください。それらに起因する故障、トラブルについては一切の責任を負いかねます。
- 使用中、機器が熱くなったり、異臭や変形などの異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 指定以外の機器を使わない：充電するときは、必ず指定の機器を使用してください。破裂や電池の液漏れ、加熱などにより、火災や怪我、周囲の汚損の原因となります。
- 本製品や付属品を、水の中や火の中に入れてください。
- 分解しない / 故障や感電の原因となります。内部の点検は、弊社またはお買い上げ店にご相談ください。
- 火のそばや炎天下などで充電したり放置しない。
- 長時間使用しない場合、イヤホンを充電式専用ケースから取り出してください。

【電池についての安全上のご注意】

- 液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大怪我や失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。
- 充電式電池が液漏れしたとき：充電式電池の液が漏れたときは素手で液を絶対に触らない。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液体が衣服についたときも火傷や怪我の原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症や怪我の症状があるときには医師に相談をしてください。
- 指定された機器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない、分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温場所での使用・保管・放置をしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- ショートさせない。
- 本製品は内蔵型バッテリーを使用しています。製品が破損するおそれがありますので、充電式専用ケースからバッテリーを取り外さないでください。



下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大怪我などの人身事故の原因になります。

【本製品についての安全上のご注意】

- 内部に水や異物を入れない：水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、本体をコンセントから抜いて、お買い上げ店にご相談ください。
- 雷が鳴り出したら、充電用接点や電源プラグに触れない：感電の原因となります。
- ぬれた手で製品に触らない：感電の原因となる場合があります。
- 製品を布団などで覆った状態で使わない：熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となる場合があります。
- 【交通安全のために】
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故や怪我の原因となります。
- 運転中は本機および携帯電話機を使用しない。
- 運転中に携帯電話画面を注視しない。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえない等危険な場所では、本製品は使わないでください。
- 【機器認定について】
本製品は、電波法に基づく小電力データシステムの無線設備として、認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本製品を分解 / 改造すること

【周波数について】

- 本製品は 2.4GHz 帯の 2.402GHz から 2.480GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
- 【本製品の使用上の注意事項】
本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- ①本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ②万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の送信を停止)してください。
- この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として G F S K 方式を採用し、与干渉距離は 10m です。



下記の注意事項を守らないと、感電やその他事故により火傷や怪我をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- ケーブルを引っ張ったり、無理な力を加えないでください。
- 指定電源以外では絶対に使用しないでください。
- 接続機器やコードなどを強く引っ張ったり負担をかけたりしないでください。偏んだ場合は使用しないでください。
- 使用中に本製品が熱くなることがありますが、異常ではありません。あらかじめご了承ください。
- 使用機器の電池が古くなっていたり、故障している場合は充電できません。
- 炎天下や直射日光の当たる場所や、－10℃以下50℃以上の所、ホコリ・振動・湿気や水分の多い場所では使用しないでください。
- 熱がこもりやすく放熱しにくい場所では使用しないでください。
- 使用しない時は、本体を必ずコンセントから抜いてください。
- 幼児の手の届く場所、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 大音量で長時間続けて聴きすぎない。耳を刺激するよう大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。イヤホンについている機器によっては、ハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- このイヤホンは、音量を上げすぎると音か外に漏れます。音量を上げすぎてもわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは、音量を上げてしまいがちですが、イヤホンで聞くときは、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- はじめからボリュームを上げすぎない：突然音が出て耳を痛めることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

- 通電中の製品に長時間触れない：長時間皮膚が触れたままになっていると、低温火傷の原因になることがあります。
- かゆみなど違和感があったら使わない：イヤホンが肌に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して、医師または弊社お客様相談室、またはお買い上げ店にご相談ください。
- 本製品を航空機内で使わない：電波が影響を及ぼし誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使わない：電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- 本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から 2.2cm 以上離すこと：電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を自動ドア、火災検知器などの自動制御機器の近くでは使わない：電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 長時間使用しないときは、安全のため充電器をコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となる場合があります。
- 本製品は、国内専用です：海外では国によって電波使用で制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 長期使用しないとき電池が放電されてしまい、充電できなくなってしまう。3ヶ月に1度を目安に、定期的にフル充電を行ってください。

困ったときの解決方法

ベアリングができない	●イヤホンの電源がOFFの状態から行ってください。 ●イヤホンのベアリングモード(LEDライトの赤と青の交互点滅)を確認してから、お使いの機種での検索や登録を行ってください。 ●ベアリングは1m以内で行ってください。 ●お使いの機種の Bluetooth プロファイルを確認してください。異なるプロファイルではベアリングができません。(本機のプロファイルはHFP、HSP、A2DP、TWS、AVRCPです)	雑音が聞こえる	●接続されている機器が離れた所にあれば、近いところに置いて試してみてください。 ●充電容量が少なくなっている可能性があります。 ●通信に干渉するような場所で通話している場合があります。
イヤホンで通話できない	●ベアリングが正しく行われているか確認してください。 ●お使いの機種の取扱説明書を読み、再度ベアリングをやり直してください。また、設定方法も合わせてご確認ください。	通話相手に自分の声が聞こえない	●お使いの機種によって、イヤホンのマイク入力を設定する必要があります。ある機器がありますので、マイク入力を有効にしてください。
電源をオンにしても何も聞こえない	●イヤホンが充電されているか確認してください。 ●音量を調節してみてください。	2台目のベアリングができない	●1台目のベアリング機器のBluetooth設定をOFFにしてから、設定をしてください。
		音楽や通話の音が途切れる	●ベアリングを一度解除して、再度オートベアリングを行ってください。

保証書(1年)

お買上リフレンドと一緒に大切に保管してください。

この保証書は正常な状態で起きた故障等に対し無償で交換することを保証するものです。取扱説明書に明記している使用方法や注意に反した故障は対象になりません。また、電話機等のメモリの消失は対象になりませんので、予めご了承ください。

商品名 DZBES-100-D 完全ワイヤレスイヤホン 充電式専用ケース付属

ご購入日 年 月 日

販売店

Willcom Co.,LTD ウィルコム株式会社

【お客様相談室】平日10:00～12:00 / 13:00～18:00
TEL: 045-370-8090